

ことねぎだより

2019年1月号 NO.140 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

言葉 賀 新 年



新年あけましておめでとうございます。
昨年は、多くの方にご迷惑をおかけした
本当に申し訳ございませんでした。
今年は異常気象に負けず安定供給します。
今年のことグループの日本一は「責任」です。
全てのスタッフが「責任」を持って仕事をします。
皆様どうぞよろしくお願いいたします。
山田 敏之

今月の
「ことねぎ」
十二月上旬頃から「霜」が降りた、これぞ
「旬の美味しさ」と言える市内の畑で育つ
た冬葱のお届け。昨年の春から畑で仕込み
「災」の多かった夏、秋を乗り
越えた物語が詰まっています。
ます。こうして美味しさと
なり、お届けできる時期を
迎えられました。

- 今月、みなさまにお届けする
- 九条ねぎが京都でのように
- 育ったものなのか、物語（事）
- を少しでも知っていただき、
- より美味しく召し上がって
- いただければと思います。



2019年、気持ち新たにスタート

日本一シリーズ 今年「責任」



日本一シリーズとは？

毎年、ことグループスタッフ全員で「今年はこのテーマで日本一と言われるように取り組もう！」と決めている目標です。

グループ会社の所帯も増え、各部門で行なっている仕事の仕方やルールは、今までのベストでしたが、今のベストではない。規模拡大していく上で「ベスト」を更新していくタイミングであると感じました。各部署、その持ち場の担当者一人一人が「責任」持ち、今のベストを変えていく。そんな「責任」を堅持したグループになると目指しこの一年考えていきたいと思っています。



凍てつく寒さの中、除草、被覆作業など動きが激しくない作業が続きます。陽が落ち限られた時間の中で春の作業も初めています。

霜害・豪雪の恐れ、冬季の心配事

年が明けた1月は、霜害にあう可能性が高いので可能な限りねぎに被覆をして守っています。また、この時期怖いのは、霜に加えて突然の豪雪。霜から守るために被覆をしても、豪雪によって被覆のトンネルごとねぎが潰れてしまうことがあります。不安定な気候になると、雨や雪で農人たちの体も冷えきってきて、今期は暖冬と言われてはいますが、年によっては冬は冬で厳しい気候にもなりなかなか気が抜けません。



経験を踏まえて安定供給



昨年、安定供給をお約束できずにご迷惑おかけした原因を改善。農人たちによる生育促進、収穫時の配慮、工場での製品化率の工場、ロス率の低減など、農産部の農人だけでは守りきれなかった量のねぎの確保が今回実現できました。少しでも製品としてお届けしようと加工部とも連携・協力でき、支えてくれている仲間にも改めて感謝の気持ちです。